

2025年11月13日

各 位

会社名 旭有機材株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員 CEO 中野 賀津也  
(コード : 4216 東証プライム)  
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室 室長 松居 秀  
TEL. 03-5826-8836

### 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

弊社は2021年度にスタートした中期経営計画(GNT2025)を推進しており、「ものづくりのプロセスをお役立ちで支えます™」という使命のもと、事業を成長・拡大し、企業価値の向上を目指しています。その実現に向けて、「資本コストや株価を意識した経営の実現」に取り組んでおり、このたび活動内容をアップデートしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、添付の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」をご覧ください。

以上



ASAHI  
YUKIZAI

# 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応

2025年 11月 13日

旭有機材株式会社

旭有機材グループは「ものづくりのプロセスを、お役立ちで支えます™」という使命のもと、事業成長と拡大を推進し、企業価値向上を目指しています。その実現に向け、資本コストや株価を意識した経営を進めています。



当社で既に進めている「資本コストや株価を意識した経営」の取組み状況に加え、アップデートした資本コストや資本収益性の進捗、市場評価、さらなる企業価値向上に向けた施策についてご報告いたします。

## 【1】資本コストと資本収益性の進捗

- 株主資本コスト / ROE
- WACC / ROIC

## 【2】市場評価に関する指標の推移

- PBR / PER / 株価など

## 【3】企業価値向上に向けた中計施策の実践状況

- 主要施策一覧
- 資本コスト低減、資本効率向上に向けた取組み

# 1. 資本コストを上回る資本収益性の目標値設定と進捗

資本コストを把握し、資本収益性の目標値を設定。中期経営計画に基づいた施策を実行。

## ➤株主資本コストと現中計における2025年度目標 ROE

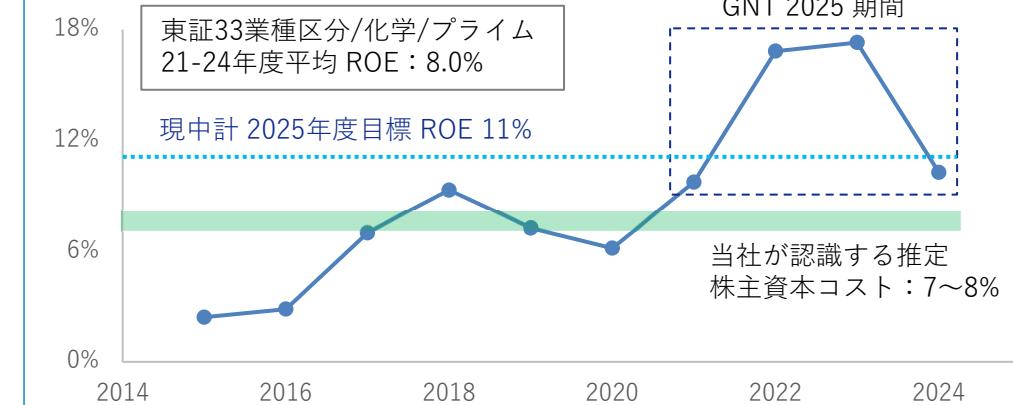
### 推定 株主資本コスト(CAPM) : 7~8%

- 推定株主資本コスト(CAPM) : 7 ~ 8 %  
 = リスクフリーレート(1.1)  
 +  $\beta$  (1.1) × 株式市場リスクプレミアム(6 前後)
- リスクフリーレート : 10年国債利回りをベースに設定
- $\beta$  : 過去5年間の旭有機材・TOPIXリターンから設定
- 株式市場リスクプレミアム :  
 株式市場期待収益率(過去実績) - リスクフリーレート

**2025年度目標 ROE : 11%**

## ➤ROE の進捗

### ROE : 株主資本コストを上回る



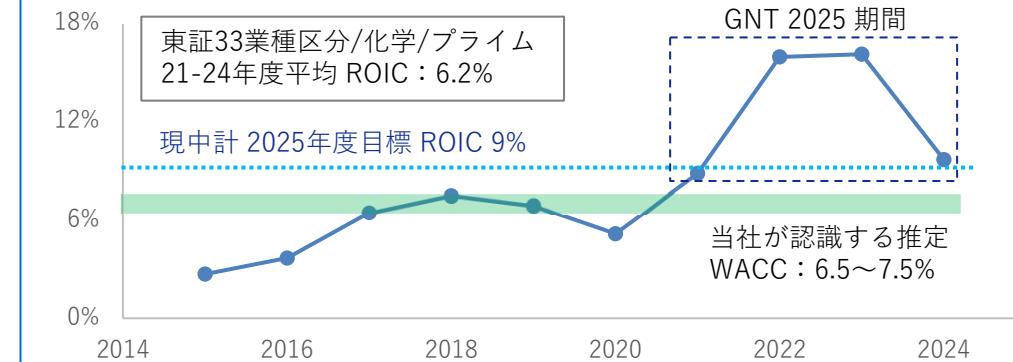
## ➤WACC(加重平均資本コスト)と現中計における2025年度目標 ROIC

### 推定 WACC : 6.5~7.5%

**2025年度目標 ROIC : 9%**

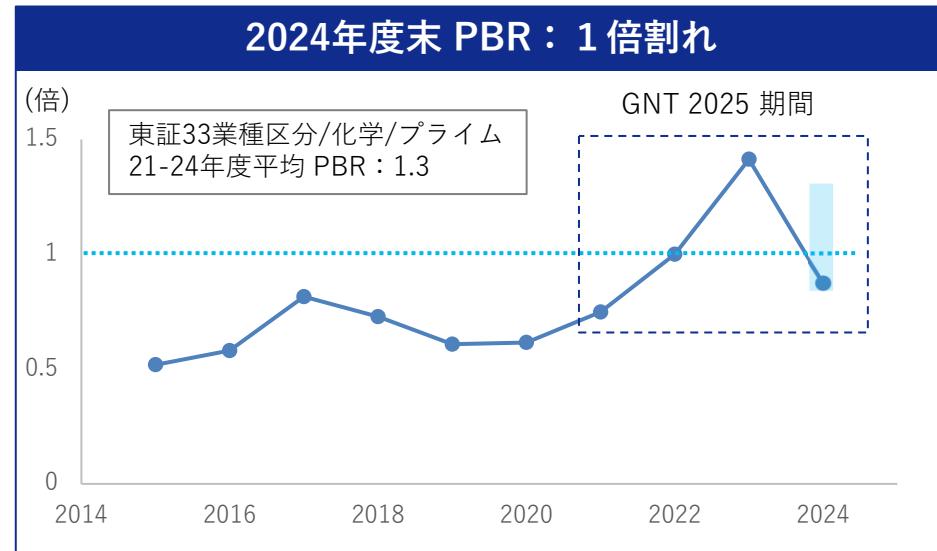
## ➤ROIC の進捗

### ROIC : WACC を上回る

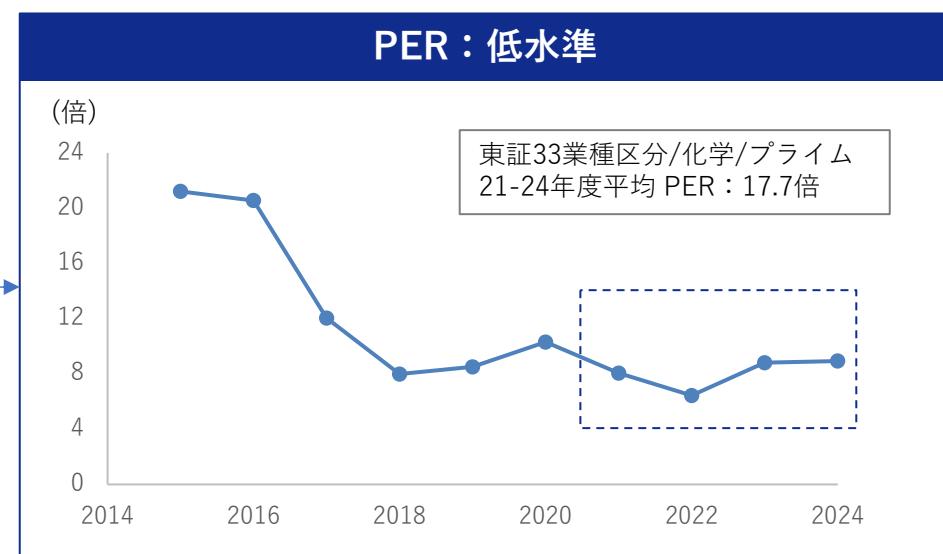
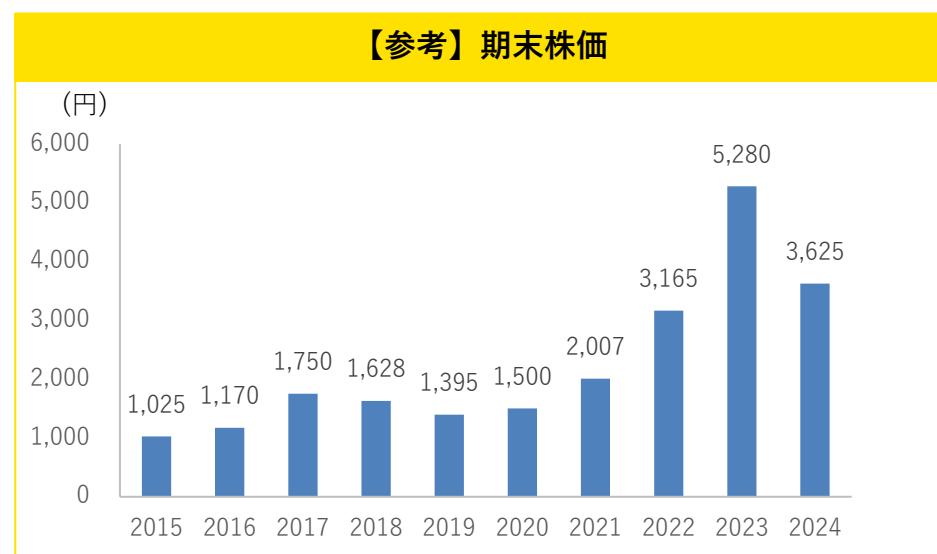
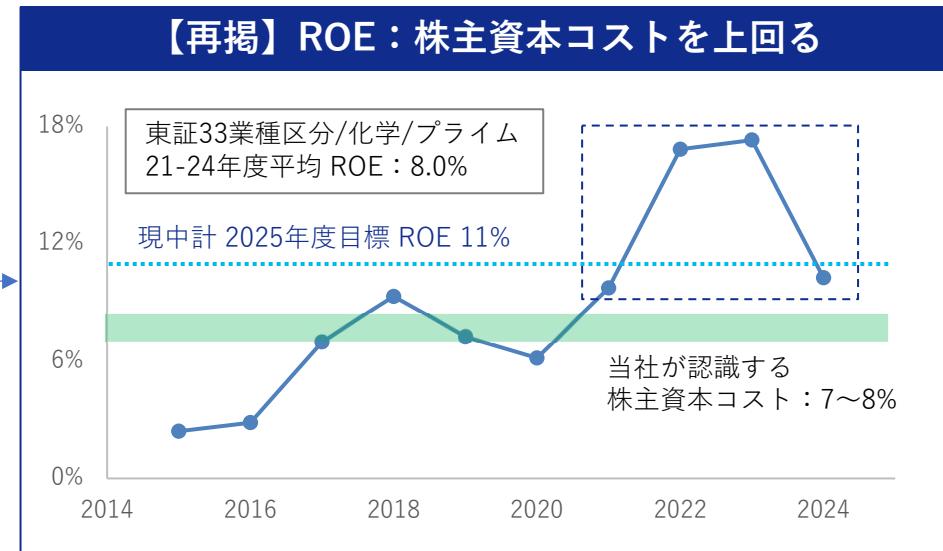


## 2. 市場評価に関する指標の推移

PBRは2024年度末時点で1倍を下回る水準



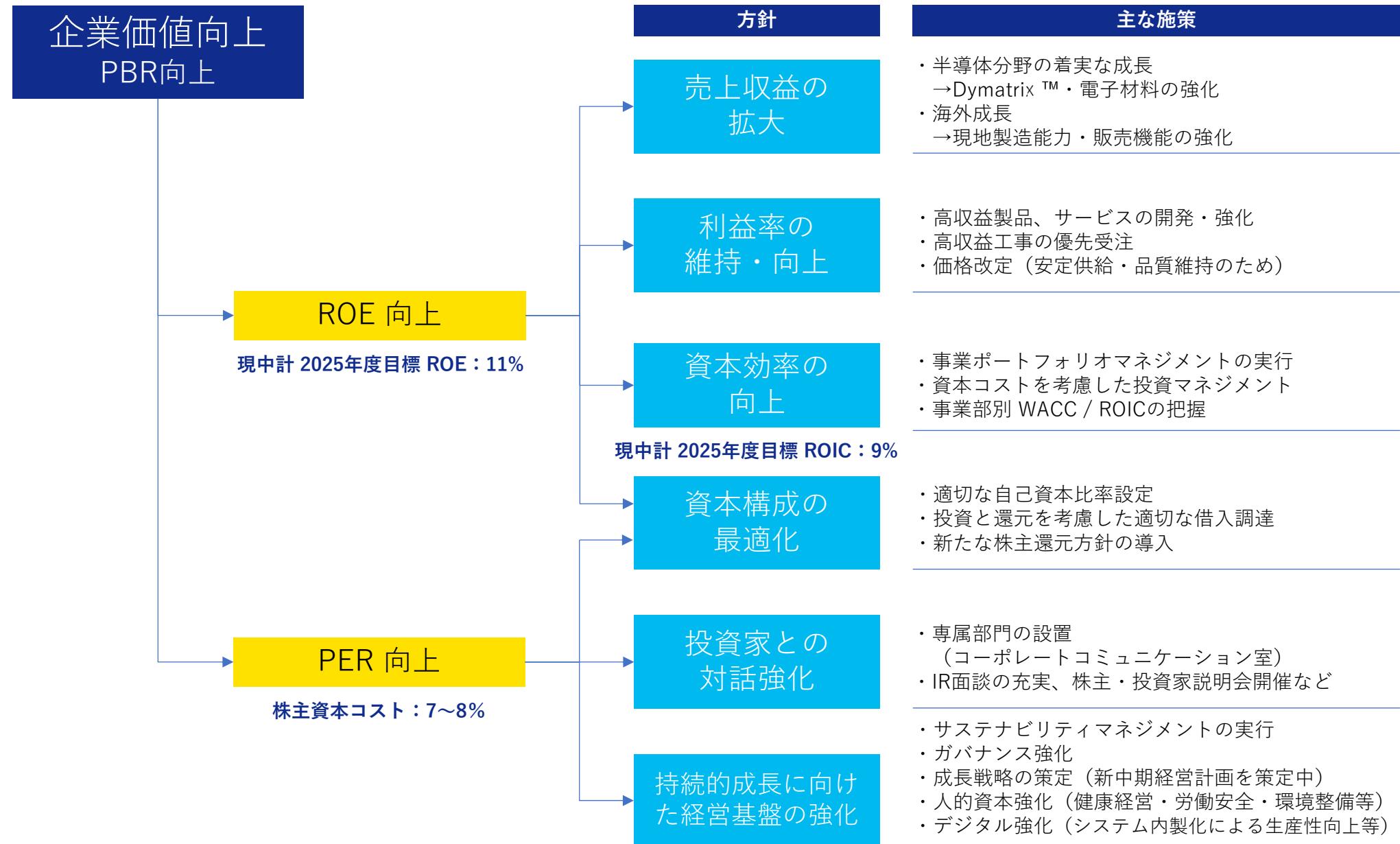
※2024年度におけるPBRの年間変動幅(最大/最小)を帶で表示



### 3-1. 企業価値向上に向けた現中計の主要施策一覧



資本効率の更なる向上、資本コストの引き下げに向けて、各種施策を実行。



## 3-2. 資本コスト低減・資本効率向上に向けた重点取組み



継続的な取組みを通じて企業価値向上を目指す

### ➤資本コスト低減に向けた取組み事例

#### 新たな株主還元方針の導入（2026年3月期～2031年3月期）

- ・1株当たりの年間配当金は前年以上を維持する**累進配当**とし、継続的な収益拡大による増配を目指す。
- ・あわせて**総還元性向**は財務の健全性(D/Eレシオ0.5以下)を考慮しながら、6年間累計として**50-70%**を目安とする。

#### 投資家との対話強化とフィードバック

- ・当社は、持続的な成長と長期的な企業価値の向上のため、株主、投資家との建設的な対話をを行うことが重要であると認識。コミュニケーションを強化するため、2024年に**専属部署を新たに設置**。
- ・IR面談の充実に加え、機関投資家向け・個人投資家向け説明会を定期的に開催し、工場見学会の実施、開示資料の拡充など、信頼性と透明性の高い情報開示を推進。また、株主からの重要な意見や懸念は、隨時経営陣に報告し、必要に応じて取締役会で共有する体制を整備。

### ➤資本効率向上に向けた取組み事例

#### 事業ポートフォリオマネジメントの実行

- ・成長分野である**半導体・海外への投資を拡大**
  - 半導体：Dymatrix™・電子材料
  - 海外：アメリカ・中国・インド・メキシコ
- ・一方で、拡大が見込めない**事業の撤退**を実施
  - 成形材料事業（2023年撤退）
  - 旭環美水処理有限公司（2025年解散）

#### 資本コストを考慮した投資マネジメントの徹底

- ・成長投資の判断においては、投資案件ごとに対象となる事業部のWACCに $+ \alpha$ を加算したハードルレートを設定。**資本コストを上回る**、規律ある投資ルールのもとで運用。

### 3-3. 資本効率向上を牽引する半導体関連事業の展開



半導体関連事業のグローバル展開を加速中。さらなる成長戦略は、次期中期経営計画にて提示。

※本資料は現中計の活動内容であり、次期中計の活動方針は中計骨子に記載。

#### 対象市場



先端・レガシー  
半導体



FPD  
(液晶・有機EL)

#### 管材システム事業

➤ Dymatrix™(ダイマトリックス)：先端半導体製造装置向け製品  
・特長：低発塵・高精度流量制御  
・顧客：日本・韓国・中国・台湾等

➤ 低パーティクルバルブ



➤ FALCONICS™(高精度流量制御)



➤ 半導体関連バルブ

- ・特長：低溶出・PFASフリー
- ・顧客：日本・韓国・中国・台湾等



➤ 半導体関連パイプ・継手

- ・特長：低溶出
- ・顧客：米国



➤ 超純パイプ・継手(半導体・FPD)

- ・特長：低溶出
- ・顧客：日本・韓国・中国・台湾等



➤ エンジニアリング(請負工事)

- ・特長：樹脂配管設計からアフターフォローまで一貫サポート
- ・顧客：日本



#### 樹脂事業

➤ 電子材料：先端・レガシー半導体向け樹脂  
・特長：低メタル・高品質樹脂の安定供給  
・顧客：日本  
　　フォトレジスト及び周辺材料の多様な製品群

日本(愛知)：電材第二工場  
(2024年竣工)



➤ 電子材料：レガシー半導体・FPD向け樹脂

- ・特長：顧客ニーズに適合した高品質樹脂の安定供給  
　　フォトレジスト及び周辺材料の多様な製品群
- ・顧客：中国

中国：電材第一工場  
(2024年生産能力1.5倍増強)



中国：電材第二工場  
(2027年竣工予定)





ASAHI  
YUKIZAI

*Great Niche Explorer™*

私たちは、ニッチ市場を極める探究者となり  
「はじめて」に挑み「違い」をつくり  
信頼の品質と真摯な対応による安心の提供と  
ものづくりのプロセスをお役立ちで支えることで  
社会に貢献し続けます